

【授業科目】国際看護学（概念・理論・基本的方法）

International Nursing

担 当 教 員		開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	実務経験	オフィス アワー	教職員への 授業公開
吉野 亜沙子、松浦 未来、高井 久実子		3 年次 前 期	必 修	1	1 5	講 義		巻末 掲載	可
授業概要 （内容と進 め方）及び 課題に対す るフィードバック 方法	授業概要／国際保健（international health および global health）とは何なのかを概観した上で、国際保健の 具体的活動例についての理解を深め、健康と社会、世界のつながりを考えるための基礎を身に付けることを目的 とする。 課題に対するフィードバック方法／リフレクションペーパーについて。提出されたレポート課題については、全 体の総評コメントを掲示にて公開する。リフレクションペーパーについては、次回以降の講義で回答、シェアす る場合がある。								
授業の 位置づけ	本学のディプロマ・ポリシー④「国際的視野で看護を考え、ヘルスケアシステムにおける看護の専門性を理解 し、保健・医療・福祉の専門職と連携し、地域社会に貢献できる」の達成に寄与している。								
到達目標 （履修者が 到達すべき 目標）	① 国際保健の歴史的背景、さまざまな定義、範囲について述べることができる。 ② 国際保健に関わる組織や、世界で行われている健康に関わるとりくみについて具体例を挙げることができる。 ③ 健康と社会、世界のつながりについて、分析的に議論できる。								
時間外学習 に必要な 内容・時間	講義の予習・復習に加えて、自らの興味関心のあるテーマについて学びを深める（ニュース・新聞等による情報収 集）ことや講義内容をふまえて、自分自身の考えをまとめることに、4 時間／1 回程度が必要となります。								
	※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体とし ては、各授業に応じた時間（2 単位 1 5 回科目の場合：予習+復習 4 時間／1 回）（1 単位 1 5 回科目の場合：予習+ 復習 1 時間／1 回）（1 単位 8 回科目の場合：予習+復習 4 時間／1 回）を取るよう努めてください。詳しくは教員 の指導に従ってください。								
授業計画	第 1 回 国際保健とは（1-1）、プライマリ・ヘルス・ケアとヘルスプロモーション（1-5） 第 2 回 日本の国際協力（1-3） MDGs と SDGs、国際保健に関わる機関（1-4） 第 3 回 「どうしてジェイソンは病院にいるの？」と「ラクの物語」（1-5、2-6） 第 4 回 看護師の国際移動（2-1）性の多様性（2-2） 第 5 回 日本で暮らす外国人と健康（1-2） 第 6 回 日本語を母語としない人とのコミュニケーション 第 7 回 戦争と難民（2-3） 災害と看護（2-5） 第 8 回 国際保健をどこで学ぶか、どのような仕事や研究があるのか（3-1～4） まとめ（4-1～2） （かっこ内の数字は指定教科書の該当する章、節）								吉野 吉野 吉野 吉野 松浦 松浦 高井 高井
評価方法 評価基準	レポートおよび定期試験 80%、受講態度 20%で総合的に評価する。								
教科書	近藤麻理著 知って考えて実践する国際看護第 2 版（医学書院）				参考書等	適宜提示する。			
学生への 助言等	「国際保健看護」は歴史的にさまざまな流れをくむ比較的新しい概念で、統一された定義は未だありません。「国際 看護学」がカバーする範囲についても同様です。国際保健看護というと、開発途上国の健康問題であるとか開発途 上国での協力活動とか捉えられがちですが、決してそうではありません。「国際」にとらわれず、健康と社会のつな がりについて考えられるようになることを目指します。								